

【沖縄県】

現在の景気：観光が持ち直し、個人消費が底固い動きにあるなど、持ち直し。

3か月程度の見通し：持ち直しの動きが続くとみられている。

個人消費：底固い動き。2月の百貨店販売は、食料品が増加し、前年比2.3%増と3か月連続で増加。スーパー販売（店調後）は、食料品が増加し、前年比1.0%増と7か月ぶりに増加。乗用車販売（軽含む）は、エコカー補助金制度の復活などから、全体では前年比43.7%増と5か月連続で増加。家電品販売は、テレビ、DVDレコーダーなどが減少し、前年比15.4%減と7か月連続で減少。

住宅建築：一進一退。2月の住宅着工戸数は、持家が前年比26.3%増加したものの、貸家が47.6%減少、分譲住宅が54.3%減少し、全体では前年比34.7%減と3か月ぶりに減少。

設備投資：やや上向き。2月の建築着工床面積（非居住用）は前年比57.2%増と3か月連続で増加。貨物車（小型）登録台数は5か月連続で前年比増加。

公共工事：弱含み。2月の公共工事請負額は前年比41.3%減と2か月連続で減少。国（沖縄防衛局）が基地関連病院の工事の減少から前年比45.9%減少、独立行政法人等が沖縄科学技術大学院大学関連工事の減少から99.7%減少、県が伊良部大橋関連工事の減少から5.7%減少、市町村が宜野湾市の住宅建替工事の減少から48.7%減少。

輸出：足許増加。2月の管内通関輸出額は、石油製品、再輸出品、金属鉱およびくずなどが増加し、全体では前年比372.4%増と2か月連続で増加。

生産活動：一進一退。1月の鉱工業生産指数（季調済）は前月比15.1%低下し85.3。金属製品が前月比11.3%低下、石油製品が12.5%低下、食料品が25.9%低下するなど5業種が低下。鉄鋼、窯業・土石製品、繊維など6業種が上昇。

観光：持ち直し。2月の入域観光客数は前年比4.0%増の43万9,500人と5か月連続で増加。国内客は、プロ野球キャンプの効果から入域客が増加し、全体では前年比3.9%増の42万3,400人と2か月ぶりに増加。外国客は、上海や北京の空路路線の増加などから中国、韓国の入域客が増加し、全体では前年比8.1%増の1万6,100人と5か月連続で増加。主要ホテル稼働率は前年比4.0%ポイント上昇し78.4%と5か月連続で上昇。売上高は前年比2.1%増と5か月連続で増加。

雇用情勢：緩やかな改善。2月の有効求人倍率は前月比0.01ポイント上昇し0.36倍。完全失業率（季調済）は前月比0.3ポイント改善し7.2%。

（トピックス）

○おきぎん経済研究所の企業動向調査によると1-3月期の業況DIは13.2。製造業、土木業、建築業、卸・小売業、情報通信サービス業などで業況改善の動き。その他サービス業では業況の弱さがみられる。4-6月期の業況見通しDIは11.6。全業種で業況改善の動きを見込む。

○「スーパークールビズ」の効果から、かりゆしウェアの生産が増加。県外百貨店やインターネットでの取扱いが増加。県内での売上げが伸び悩むなか、ウェアに付ける製品タグの発行枚数は前年比12%増の約35万3000枚と過去3番目の枚数。県外市場への販路拡大には縫製人員確保など課題はあるものの、期待も大きい。

< 主要産業の動向 ― 沖縄県 ― >

窯業・土石：横這い。2月の生コン出荷量は前年比5.4%増と4か月ぶりに増加。公共工事向け出荷が前年比4.5%減少、民間工事向け出荷が13.0%増加。セメント出荷量は前年比5.5%増と4か月ぶりに増加。

主要ゴルフ場入場者数：持ち直し。2月の主要ゴルフ場の入場者数は、県外客が増加したものの、県内客が減少し、前年比横這い。

家電卸出荷額：減少。エコポイント制度終了の反動から、全体では前年比15.4%減と7か月連続で減少。テレビが前年比56.0%減少、冷蔵庫が9.2%増加、洗濯機が28.4%増加、4月以降の部材価格の高騰を見据えた駆込み需要からエアコンが85.4%増加。

新車登録台数：横這い。エコカー補助金制度の復活から、全体では前年比43.7%増と5か月連続で増加。普通乗用車が前年比31.2%増と2か月ぶりに増加、小型乗用車が77.4%増と6か月連続で増加、軽乗用車が30.6%増と5か月連続で増加。

泡盛出荷量：弱含み。11月の泡盛出荷量は前年比3.0%増と3か月ぶりに増加。県内出荷量は前年比1.8%増加、県外出荷量は10.2%増加。